



秩父銘仙の新たな挑戦

1月25日から2月21日まで、松屋銀座において、企画展「STYLE*MEISEN」が開催されました。このイベントは銘仙を現代に再生させる試みで、秩父市と足利市の事業者がファッションブランド「matohu」と組み、銘仙の生地で作られた洋服やバッグが製作されました。銘仙の新たな挑戦に、会場は多くの来場者で賑わいました。

春の訪れを告げる 黄金色の花



2月初旬、道の駅龍勢会館の裏庭で、黄金色の福寿草が咲き始めました。薄紅色の「秩父紅」という珍しい品種も植えられています。また、吉田石間沢口地区には花弁の大きい在来種の自生地もあります。

鮮やかな黄金色の花々が、訪れる人たちの目を楽しませてくれます。



環境の研究成果を発表！

秩父市環境市民会議 第3回プロジェクト
「児童生徒の環境の研究作品発表会」

2月11日、「児童生徒の環境の研究作品（環境賞受賞作品）発表会」が開催されました。環境賞を受賞した5人の児童生徒の発表のほか、秩父こどもエコクラブ、秩父農工科学高校の研究発表が行われました。ゴミ、井戸、リサイクル、森、自然観察などさまざまな視点による発表を、来場者は感心しながら聴いていました。



氷の芸術「三十槌の氷柱」

大滝氷まつりが1月7日から2月26日まで開催されました。三十槌の氷柱は岩肌から少しずつ湧き出る水により創られる、高さ約8メートル、横幅約30メートルにもなる天然のつららです。期間中はバイオディーゼル発電によるライトアップも行われ、大自然が創った氷の芸術作品を鑑賞するため、多くの観光客が訪れました。

埼玉の全てを知るクイズ王をめざせ！



1月21日、第5回埼玉クイズ王決定戦秩父予選が開催されました。さいたま市で行われる決勝進出を目指し、33チームが歴史や文化、県政などの埼玉県に関するクイズに挑戦しました。〇×クイズ、3択クイズ、早押しクイズを勝ち抜いた3チームが決勝に進出を果たしました。

秩父のイチゴをPR



1月20日、秩父観光農業Oh!園（応援）アンバサダーの中島早貴さん（C-ute）が、西武秩父駅で秩父地域のイチゴのPRを行いました。訪れた方々は笑顔で秩父のイチゴの試食を楽しみました。また、中島さんは1日駅長にも就任され、特急レッドアロー号のお出迎えや出発合図の業務を体験しました。